

田園自然環境保全整備事業

ちくま
筑摩地区

地区概要

関係市町: 米原市

主要工事:

生態系保全施設 1式

景観保全施設 1式

総事業費: 246百万円

工期: 平成18~20年度

○生態系保全施設整備
(浚渫) V=3,270m³

○景観保全施設整備
(排水路) L=168m
(池の護岸) L=253m

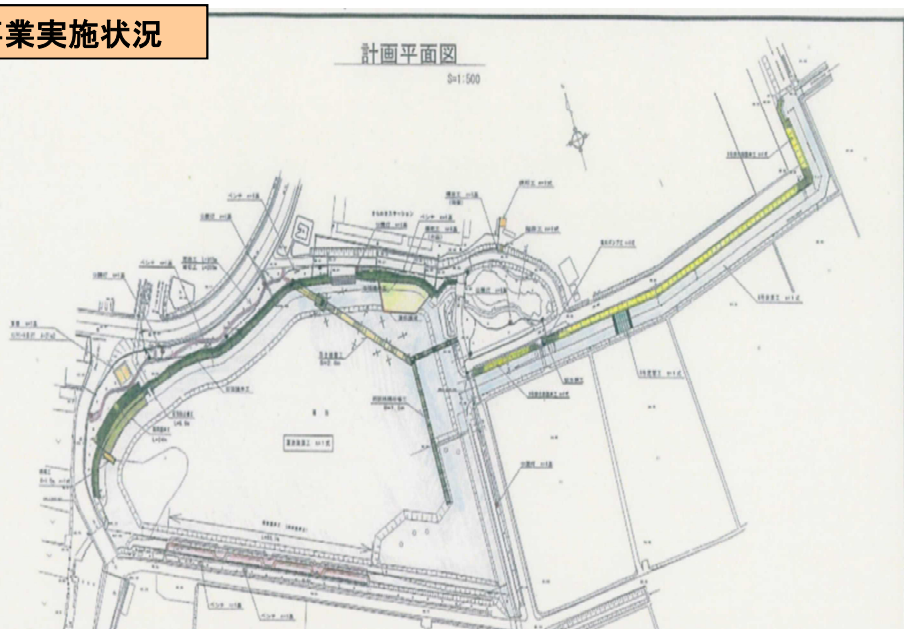
位置図



事業目的

本地区において、集落の南端に位置する蓮池を中心とした水辺の再生を契機に元気な地域づくりを目指す。

事業実施状況



排水路



実施前

蓮池



実施前



実施後



実施後

事業の効果

景観保全・豊かな生物や水辺空間の創設

本事業の実施により、水辺空間が整備され、水と緑に包まれ、貴重な生きものの生息する地域に生まれ変わることが出来た。

住民の環境意識の向上

蓮池を中心とした区域一帯の維持を目的とした活動組織の立ち上げなど、周辺住民の環境意識が高まった。また、関係者へのアンケート結果からも自然環境保全への意識の高まりを確認することができた。

受益者等の意見

- ・蓮池の水辺環境が整備され、スッキリしてきれいになった。生きものの姿も見受けられ、子どもと散歩できる環境が出来てよかった。
- ・護岸工は、親水公園として景観に配慮した施設になった。排水の流れもよくなった。

今後の課題

- ・施設の維持管理については、蓮池を中心に環境美化活動を「まちづくり委員会」で実施しているが、地域住民の高齢化や減少の進行により、今後も引き続き実施していくためにはさらに維持管理体制の強化が必要となる。
- ・世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の取組が未実施であるが、今後は本対策による実施も視野にいれ、市とともに体制の推進を図っていきたい。